

補聴器購入の助成を求める陳情書

「陳情の趣旨」

近年、年齢に関係なく、補聴器を購入せざる得ない方の購入費が高額で購入を考えてしまうという声が多くきかれます。年齢に関係なく、医師の診断書があれば補聴器購入への公的助成制度をつくることを求めます。

「理由」

コロナウイルスの感染拡大は、日常生活に多大な影響がでています。外出自粛で友達や近所との交流もひかえたり、様々な集まりの場が少なくなり、体に今までにない変化がおきています。特に人の声や音が聞き取りにくくなり聞き返しが多くなり、会話が面倒になり、家族がいても一日のおしゃべりがコロナ禍の前と比べたら驚くほど少なくなっています。

医学的にも、難聴は認知症につながる危険要因が高いといわれています。認知症予防活動の一環としても、補聴器購入助成制度があることが安心して生活ができる保障でもあります。誰でもが、最後まで自分らしく生活出来ることを願って、補聴器購入の助成制度をつくることを求めます。

陳情者

あきる野市瀬戸岡 369-2

安藤 保子 外

2021年8月 19 日

12/4

あきる野市議会議長 中嶋 博幸 様

